



2025 年5月 14 日

各 位

会社名	住友化学株式会社
代表者	社長執行役員 水戸 信彰
(コード番号	4005 東証プライム市場)
問合せ先	コーポレートコミュニケーション部長 小林 俊二
(TEL	03-5201-0200)

連結決算における減損損失及び金融費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年3月期第4四半期連結会計期間(2025 年1月1日～2025 年3月 31 日)において、下記のとおり減損損失及び金融費用(為替差損)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容

当社及び当社の連結子会社において、一部の有形固定資産等について減損の兆候が認められることから、当該有形固定資産等に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を計上することとなりました。

この結果、2025年3月期第4四半期連結会計期間において、減損損失20,802百万円を「売上原価」、「販売費及び一般管理費」及び「その他の営業費用」に計上しております。

減損損失を認識した主要な項目は以下のとおりです。

① アドバンストメディカルソリューションにおけるファイン製品製造用マルチプラント

ファイン製品製造用マルチプラントについて、事業環境の悪化や収益性の低下が見込まれることから減損テストを実施いたしました。その結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、帳簿価額を回収可能価額である 6,909 百万円まで減損し、減損損失 4,529 百万円を計上いたしました。

② 住友ファーマにおける特許権

2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」に係る特許権について、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減損し、減損損失 4,175 百万円を計上いたしました。

③ エssenシャル&グリーンマテリアルズ等における愛媛工場製造設備

愛媛工場製造設備について、需要及び市況価格の低迷により収益性が低下したため、帳簿価額全額を減損し、減損損失3,248百万円を計上いたしました。

2. 金融費用(為替差損)の内容

2025年3月期第4四半期連結会計期間において、為替相場の変動に伴い、為替差損26,342百万円を金融費用に計上いたしました。これは主に、当社グループが保有する外貨建資産及び負債を期末時点の為替レートで評価替えしたことにより発生したものです。

3. 業績に与える影響

上記の減損損失及び金融費用(為替差損)は、本日公表の「2025年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」に反映しております。

以上